

地域・家庭、ボランティア、学校司書などとの連携

岩手県 奥州市立水沢小学校

基本データ

所在地	奥州市水沢字堀ノ内 4番地2
児童生徒数	598人
教職員数	41人
蔵書数	14,832冊
年間貸出冊数	61,329冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】計画的・組織的な運営・活用

【活動のねらい】

- (1) 保護者との連携
本校で長きにわたり取り組んでいる読書感想文集の発行を継続していくことを通して、学校と保護者が密接に連携して読書活動を推進していく風土を醸成していく。
- (2) 地域ボランティアの活用
学校支援ボランティアによる読み聞かせやペープサートの上演、水沢第一高等学校生徒による読み聞かせ等を通して、児童がより多くの図書に興味をもつよう促すとともに、児童の読書の幅を広げる。
- (3) ボランティア・学校司書による図書館の環境整備
計画的な学校図書館の環境整備により、児童の読書意欲を引き出すとともに、選書に迷う児童にとっても参考にすることができるなど、児童にとって、親しみやすく活用しやすい読書環境をつくる。

取組・活動の概要

(1) 保護者との連携

① 親子読書

- 冬季休業中に、親子で読書を行った後、感想を書く取組を実施

② 校内読書感想文集「うば杉」の発行

- 児童の読書感想文を図書担当と図書委員会を中心にまとめ、PTA文化委員会のものと合冊して発行（毎年発行）

(2) 地域ボランティアの活用

① 学校支援ボランティアの活用

- 学校支援ボランティアによる読み聞かせは、第1学期は高学年、第2学期は中学年、第3学期は低学年で実施
- 学校支援ボランティア「ままだ〜る」によるペープサートの上演は、11月5日に実施（隔年実施）



ペープサート上演会

② 地域の高校生（水沢第一高校）の活用

- 夏季休業中と冬季休業中に3～4回程度実施



高校生による読み聞かせ

③ PTA 親子レクでの活用

- 第1学年のPTA親子レクでの読み聞かせ

(3) ボランティア・学校司書による図書館の環境整備

①特設コーナーの設置

- その時期の話題や読書感想文コンクールの課題図書などの特設展示



特設コーナー

②季節や行事に応じた装飾

- 学校行事や季節の行事にあわせた学校図書館の装飾

取組・活動の工夫や特徴

(1) 保護者との連携

- 学校の図書担当及び図書委員会と、PTA 文化委員会の合冊により文集を発行しており、平成30年度で53号を数える。学校と保護者が連携して読書活動に取り組んでいる。

(2) 地域ボランティアの活用

- 奥州市学校支援事業の一環として、平成20年から奥州市全体で実施しているものである。地域コーディネーターが中心となり、計画を立てている。

(3) ボランティア・学校司書による図書館の環境整備

- 季節に合わせた装飾や、特設コーナーの設置などを通して、児童が学校図書館に足を運びたくなる環境づくりに努めている。

取組・活動の成果や今後の展望

- 読書感想文集の発行、特設コーナーの設置、おすすめの本の紹介が、選書のきっかけとなり、紹介された本を、図書館で借りる児童が多く見られるようになってきた。
- 読み聞かせやペープサートの上演は、児童が集中して話の世界に浸る貴重な機会となっており、児童に絵本や物語に触れるきっかけを与えている。
- さらに、児童の貸し出し冊数が増え、児童が読書への関心を深め、読書への意欲が高まっている。
- 年間読書冊数達成率の向上が見られた。(H26:75%、H27:76%、H28:89%、H29:87%、H30:94%)
- 学校図書館を美しく装飾することにより、図書館が児童にとって心やすらぐ、居心地の良い場となった。
- 春夏秋冬と季節毎に工夫を凝らした装飾を行っており、季節の移り変わりを感じるができる。